

## 第59回東北地区高等専門学校体育大会 陸上競技 競技要項

1. 主催 東北地区高等専門学校体育連盟、一般財団法人岩手陸上競技協会
2. 主管 一関工業高等専門学校、一関市陸上競技会
2. 競技開催校 一関工業高等専門学校
3. 後援 岩手県、岩手県教育委員会、公益財団法人岩手県体育協会、一関市、一般社団法人一関市体育協会
4. 大会期日 令和4年7月2日(土)
5. 大会会場 一関運動公園陸上競技場(一関市萩荘箱清水4-2)
6. 競技種目 **【男子】17種目**  
100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 110mH 3000mSC  
4×100mR 4×400mR 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳 砲丸投(6.0 kg)  
円盤投(1.75 kg) やり投  
**【女子】9種目**  
100m 800m 100mH 4×100mR 走高跳 走幅跳 砲丸投(4.0 kg)  
円盤投(1.0 kg) やり投  
※ [注] アンダーラインの種目は全国大会実施要項に依る種目である。
7. 競技人員 (1) 監督1名、コーチ1名、マネージャー1名  
(2) 各校1種目3名以内、1人2種目以内(リレーを除く)  
(3) リレーは1校1チーム、6名以内
8. 競技規則 (1) 2022年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。  
(2) 本大会は全国高専体育大会の参加資格に基づいて予選を兼ねるものとする。  
(3) 全国大会出場権を得た者が、その後の不慮の事故等により登録不可能となった場合は、次位の者が出場権を得るものとする。
9. 競技方法 (1) 学校対抗とする。  
(2) **【男子】**得点は、1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とする。  
**【女子】**得点は、1位6点、2位5点、3位4点、4位3点、5位2点、6位1点とする。  
(3) 最多得点校を優勝とし、同点の場合は上位入賞種目の多い学校を上位とする。
10. 参加申込 (1) 申込方法 一関工業高等専門学校ホームページから申込書(エクセルシート)をダウンロードし、必要事項を入力して電子メールに添付して下記へ申し込むこと。申込データのファイル名と送信時の件名は、「東北地区高専体育大会○○○・(○にはチーム名、学校名を記入)」とし、期日厳守で送信すること。  
(2) 申込期限 令和4年6月8日(水)【必着とする】  
(3) 申込先 〒021-8511 一関市萩荘字高梨  
一関工業高等専門学校学生課内  
東北地区高等専門学校体育大会 陸上競技実行委員会事務局  
TEL : 0191-24-4718 FAX : 0191-24-4530  
E-mail : gakusei\_kakari@ichinoseki.ac.jp
11. 代表者会議 (1) 日時 令和4年7月1日(金) 15:00~  
(2) 会場 一関運動公園陸上競技場 会議室
12. 開閉会式 (1) 開会式 令和4年7月2日(土) 9:00~  
(2) 閉会式 競技終了後
13. 表彰 (1) 各種目の表彰は3位までとし、優賞者にはメダルと賞状を、第2位と第3位には賞状を授与する。  
(2) 団体上位第3位までに賞状、優勝校には優勝旗並びにメダルを授与する。
14. 個人情報 (1) 主催者は、個人情報の保護に関する法律、及び関連法令等を遵守し個人情報を

取り扱う。なお、取得した個人情報、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページ、その他競技運営及び陸上競技に必要な「連絡等」に利用する。

- (2) 大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者及び主催者が承認した第三者が大会運営等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・新聞・雑誌・インターネット等媒体に掲載されることがある。

## 15. その他

- (1) 競技注意事項等について  
正式な競技日程と競技注意事項等は、6月8日以降一関高専 HP に掲載する。
- (2) 健康管理について  
参加者は事前に健康診断を受けるなどし、事故の健康管理には十分に留意して参加すること。競技中に発生した傷害・疾病についての応急処置は主催者側にて行うが、以後の責任は負わない。
- (3) 新型コロナウイルス感染症関連について  
大会前10日以内に濃厚接触者となった場合は、申し込み後においても出場はできない。
- (4) 棒高跳用ボールの送付先について  
<送付先>〒021-0902 一関市萩荘字箱清水4-2  
一関運動公園管理事務所気付
- (5) 大会前日練習について  
7月1日(金)午後1時～5時 本競技場で行える。
- (6) ゴミについて  
大会期間中のゴミについては、チーム毎にゴミ袋を用意して、終了時に持ち帰ること。

# 競技注意事項

## 1. 競技規則について

本大会は、2022年公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって実施する。

## 2. 練習について

- (1) 練習は、多目的広場で行う。
- (2) 投てき競技の練習は、ソフトボール場で行う。

## 3. 招集について

- (1) 招集所は、北ゲート外側の器具庫付近に設ける。
- (2) 種目別の招集開始・完了時刻は、プログラムの競技日程に記載している。
- (3) 招集の方法については次の通りである。
  - (a) 競技者は招集開始時刻になったら、招集所に掲示してある出場競技者一覧表にチェック（自分の番号を○で囲む）をする。
  - (b) チェックを終えた競技者は、招集完了時刻5分前に、待機所で競技者係の最終点呼を受ける。その際、アスリートビブス、競技用靴のスパイクピン及び靴底の厚さの点検を受ける。  
トラック競技のみ腰ナンバーカード標識を受け取る。
  - (c) 携帯電話等、TR6.3.2に関わる通信機器等を持ち込んでいないか確認を受ける。
  - (d) 代理人による最終点呼は認めない。2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が競技者係に用意した「2種目同時出場届」に記入し、1種目の招集時に招集所へ提出する。
  - (e) 欠場する者は、「欠場届」に必要事項を記入し、招集開始時刻前に招集所に提出する。
  - (f) 招集完了時刻に遅れた競技者は、出場できない。

### (4) リレー種目について

- (a) 「リレーオーダー用紙」に必要事項を記入し、各ラウンドの第1組の招集完了時刻1時間前までに競技者係（招集所）に提出すること。決勝においてもメンバー・オーダーの変更の有無にかかわらず、招集完了時刻1時間前までに競技者係に提出すること。

## 4. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、折り曲げないで、ユニフォームの胸と背に確実に付けること。  
(4カ所、2点止め)
- (2) トラック競技に出場する競技者は、写真判定用の腰ナンバー標識を招集所で受け取り、パンツの右側やや後方に付ける。フィニッシュ後係員に返却すること。
- (3) アスリートビブスの割り当ては次の通りとする。

八戸：100～ 一関：200～ 仙台名取：300～ 仙台広瀬：400～  
秋田：500～ 鶴岡：600～ 福島：700～

## 5. 競技場内への入退場について

- (1) 招集所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
- (2) 競技終了後は、競技役員の指示に従い退場する。なお、決勝において入場者の競技者を入賞者控えに誘導する。

## 6. 番組編成について

- (1) トラック競技の予選のレーン順・フィールド競技の試技順は、プログラム記載順による。
- (2) トラック競技決勝のレーン順は大会本部にて行う。
- (3) トラック競技決勝のタイムによる競技者の決定について、最終枠に同記録があるときの処理は、写真判定主任が0, 0 0 1秒単位の時間を判定して競技者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。

## 7. 競技について

- (1) トラック競技はすべて写真判定装置を使用する。万一記録が出なかった場合は、再レースを行うことがある。
- (2) レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
- (3) 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
- (4) フィールド競技における競技場内での練習試技は、すべて競技役員の指示に従う。
- (5) 跳躍・投てき（やり投）競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。
- (6) 競技者は、規格外の企業名・商標名等のついた物品を持ち込むこと、勝手に競技場所を離れること、ビデオ装置・カセットレコーダー・ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用することができない。
- (7) フィールド種目に出場している競技者が、当該競技者に代わり競技区域の外にいるものによって録画された以前の試技の映像を見ることが出来る。但し、その録画再生機器や録画映像を競技区域内に持ち込むことは認められない。

## 8. バーの上げ方について

走高跳、棒高跳のバーの上げ方は次の通りである。

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	以降
走高跳	男子	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	+3cm
	女子	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	+3cm
棒高跳	男子	2m70	2m80	2m90	3m00	3m10	3m20	+10cm

## 9. 競技用具について

- (1) 競技に使用する用器具は、棒高跳用ポールを除き主催者が用意したものを使用しなければならない。
- (2) 個人の練習用器具は、競技場内に持ち込まないこと。
- (3) スパイクピンの長さは、9mm以内とする。但し、走高跳・やり投げは12mm以内とし、

これらのスパイクの直径は、4mm以内でなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。

- (4) 競技用靴についてはWAの規則を適用します。800m未満の種目は20mm、800m以上の種目は25mmまでとし、靴底厚計測は招集にて当日実施する。
- (5) ハードルの高さは次の通りとする。

種目	種別	高さ	インターバル
110mH	男子	1.067m	9.14m
100mH	女子	0.838m	8.50m

- (6) 投てき競技の使用する器具は次のとおりとする。

種目	男子	女子
砲丸投	6.000kg	4.000kg
円盤投	1.750kg	1.000kg

## 10. 抗議について

発表された結果に対する抗議は、TR8に定められている時間内（同一日に次のラウンドが行われる場合はアナウンス後15分以内、それ以外は30分以内）に競技者自身または、代理人が審判長に対して口頭で行い、控室で裁定を聞く。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金（1万円）を添え、担当総務員を通じて Jury にて文書で申し出る。

## 11. 表彰について

- (1) 各種目総合3位まで入賞者に賞状を授与する。表彰式は行わないので表彰係へ取りに来ること。
- (2) 各種目優勝者にメダルを授与する。

## 12. 一般的注意事項

- (1) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は、大会本部救護係に連絡する。
- (2) 競技会での疾病・傷害等の応急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。
- (3) 大会中の貴重品の保管は、各自・各チームで行うこと。盗難にあっても主催者ではその責任は負わない。
- (4) 記録はその都度発表するが、別に設置する記録掲示板に印刷物で掲示する。